

Course title <English>	遺伝医療と倫理・社会 Genetic Medicine, Ethics and Society		Affiliated department, Job title, Name	Graduate School of Medicine Professor, KOSUGI SHINJI	
Target year	Professional degree students	Number of credits	2	Course offered year/period	2018/Intensive, First semester
Day/period	Intensive	Class style	Lecture	Language	Japanese
[Outline and Purpose of the Course]					
<p>【基本情報】 授業日時：水曜2限を原則とする（例外予定にご注意ください） 教室：G棟3階演習室 レベル：基礎 担当者：小杉眞司・和田敬仁・山田崇弘・澤井英明（兵庫医科大学）</p> <p>【コースの概要】 遺伝医療・先端医療においては、倫理的な配慮は不可欠である。遺伝医療を中心とした医療倫理の基本について学ぶ。特に種々のガイドラインの理解は極めて重要である。また、社会的な基盤を含む日本の遺伝医療の現状について理解する。</p>					
[Course Goals]					
遺伝医療・医学に関する倫理指針、遺伝学的検査、小児・産婦人科遺伝医療における倫理問題の基本、社会基盤について理解する。					
[Course Schedule and Contents]					
<p>【第1回】4/11<和田1>「小児遺伝性疾患の診断・告知と代諾」小児期発症の遺伝性疾患に対する倫理的問題を考える</p> <p>【第2回】4/18<小杉1>「遺伝医療総論」遺伝カウンセラーコースの必修科目として、必ずしも「倫理」にかかわらず、一般的なイントロダクションを行う。また、遺伝医療における倫理問題の特性、遺伝情報の共有、意図しない遺伝情報の開示などについて考える</p> <p>【第3回】4/25<小杉2>「ヒトゲノム・遺伝子解析研究の倫理指針と他のガイドライン」研究として行われるヒト遺伝子解析における倫理的問題点、研究と臨床の境界と区別について考える</p> <p>【第4回】5/9<小杉3>「企業で行われる遺伝子解析について」遺伝学的検査を臨床検査会社等の外部委託する場合の問題点、非医療機関で行われる遺伝子検査の問題点について考える</p> <p>【第5回】5/16(臨床第一講堂)<小杉4>「遺伝医療に関するガイドラインについて」</p> <p>【第6回】5/23<小杉5>「遺伝学的検査に関するガイドライン・遺伝子検査の意義」臨床的に行われる遺伝学的検査の実施に際して考慮されなければならない倫理的問題について、遺伝子診断の意味とその問題点について、発端者・血族における違いを明確にしながら考える。</p> <p>【第7回】5/24<小杉6>「発症前遺伝子診断について」発症前遺伝子診断・易罹患性診断の意味とその問題点について、神経変性疾患、家族性腫瘍など疾患における違いを明確にしながら考える</p> <p>【第8回】6/1 金5限<山田1>「人工妊娠中絶」本邦における人工妊娠中絶について、その倫理問題について考える</p> <p>【第9回】6/1 金6限<山田2>「出生前診断・生殖補助医療」出生前診断の倫理的問題について理解する。不妊・不育症治療としての生殖補助医療の倫理的問題点について詳細に検討する</p> <p>【第10回】6/6<和田2>「生命倫理観の多様性」患者やクライアントの持つさまざまな生命倫理観を理解し、対応する方法を考える</p> <p>【第11回】6/13<小杉7>「多因子疾患易罹患性診断・遺伝学的検査のACCE・ゲノムコホート研究について」遺伝学的検査についてはA(Analytical Validity), C(Clinical Validity), C(Clinical Utility), E(Ethical, Legal and Social Implications)が重要である。特に、多因子疾患においては今後の研究によ</p>					
Continue to 遺伝医療と倫理・社会(2)					

遺伝医療と倫理・社会(2)

その確立が必要である。そのためにはゲノムコホートによる長期的な取り組みが必要である
【第12回】6/27 <山田3> 「ゲノム医療における二次的所見の取り扱い」網羅的ゲノム解析が実臨床に導入されて来たことにより得られた本来の目的とは別の二次的所見に対応する際の倫理的な問題を考える
【第13回】7/4 <小杉8> 「キャリア診断・保因者診断について」常染色体・X連鎖性劣性遺伝性疾患・均衡型染色体相互転座などにおける保因者診断の意味と問題点について考える
【第14回】7/4 5限 <澤井> 「少子化対策(すこやか親子21)等の政策について」少子化の進行は社会の活性を低下させるため、従来から様々な対策がなされてきた。成果を上げたものもあるがそうでないものもある。何が問題であるのかを検討する
【第15回】7/11 <和田3> 「「障がい」と生命倫理」「障がい」から生命倫理を考える
【第16回】7/18 <山田> 「筆記試験」
【第16回】8/8 <山田> 「再試験」

[Class requirement]

遺伝カウンセラーコース1回生必修科目
人間健康科学系専攻学生の受講可否：要事前連絡

[Method, Point of view, and Attainment levels of Evaluation]

試験、レポート、授業への積極的な参加、発表、出席等を総合的に評価する

[Textbook]

随時配布する

[Reference books, etc.]

(Reference books)

[Regarding studies out of class (preparation and review)]

適宜指示する

(Others (office hour, etc.))

講義日程、講師、内容については、多少の変更がある可能性があります。

*Please visit KULASIS to find out about office hours.